

# コロナ報告数が急増、定点当たり報告数は前週の1.4倍に：日経メディカル

Clip source: [コロナ報告数が急増、定点当たり報告数は前週の1.4倍に：日経メディカル](#)

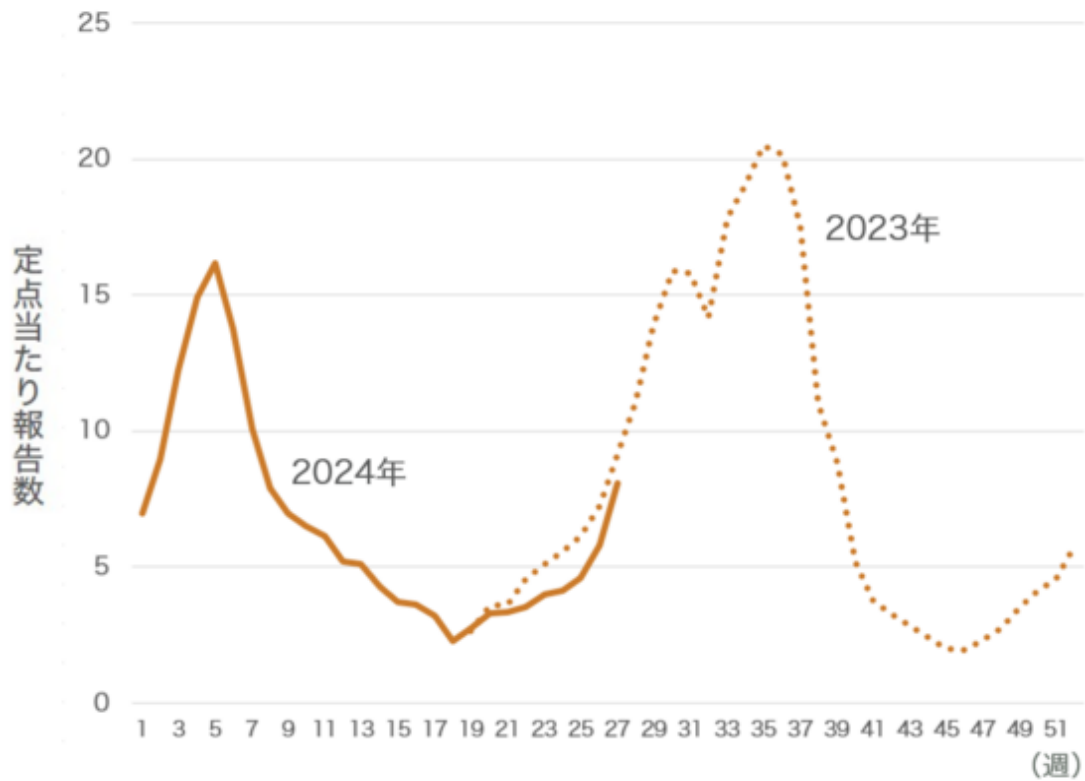
## NEWS◎2023年も夏に大きな流行ピーク コロナ報告数が急増、定点当たり報告数は前週の1.4倍に

2024/07/13

[宇佐美 知沙](#)=日経メディカル

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行が本格化してきた。2024年7月12日に厚生労働省が発表した速報によると、2024年第27週（7月1～7日）の定点当たり報告数は8.07で、前週の5.79から約1.4倍となった。都道府県別に見ると、九州地方での定点当たり報告数が多く、沖縄県が29.92と最多だった。

COVID-19が5類の定点把握対象疾患となった、2023年第19週（5月8～14日）以降の定点当たり報告数の推移は図1の通り。2024年のゴールデンウィーク以降じわじわと増加していたが、7月に入り勢いを増した。9月に最大のピークを迎えた2023年の動きと近く、これから真夏にかけて警戒する必要があるようだ。



**図1 COVID-19の定点当たり報告数の推移**

(国立感染症研究所などのデータを基に編集部作成、図、も)

都道府県別のデータでは、九州地方の全ての県で 以上となり、鹿児島県では、沖縄県では だった(図2)。関東地方でも千葉県で と を上回った。

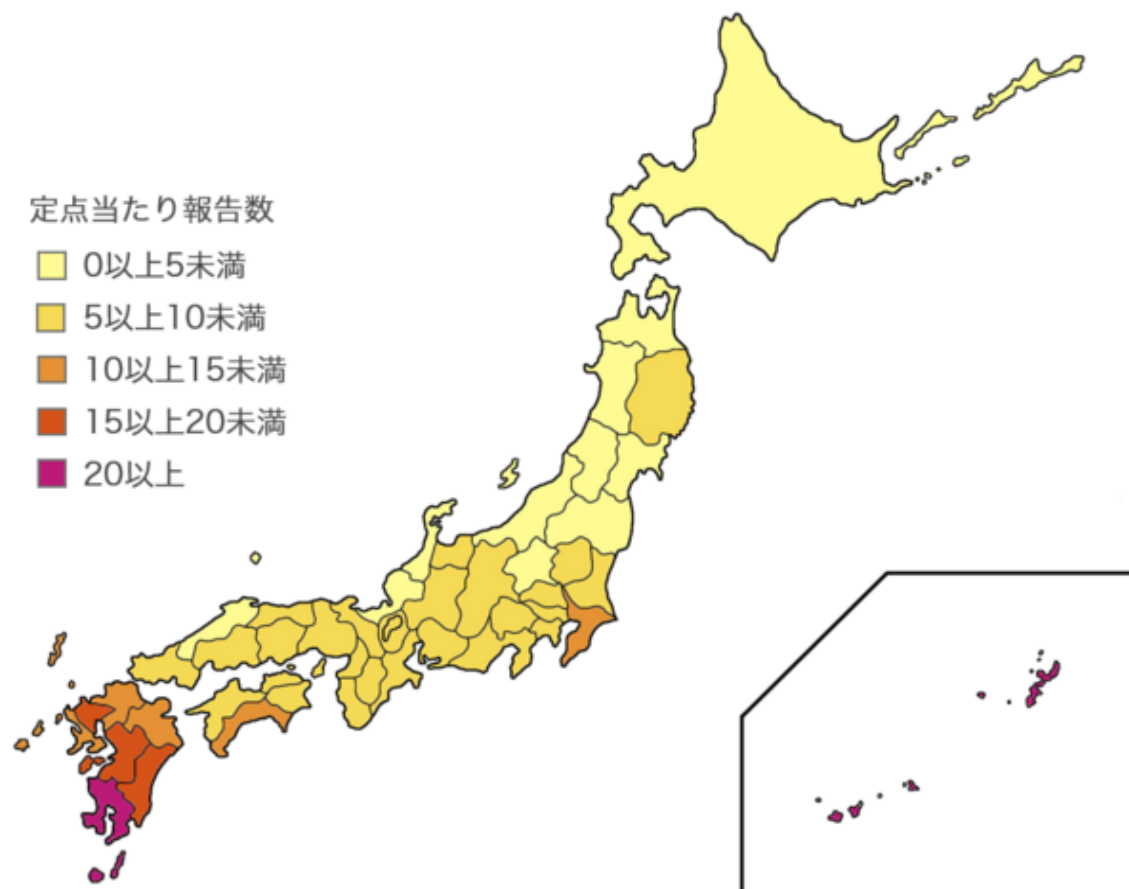


図2 COVID-19の定点当たり報告数

(都道府県別、 年第 週)

報告数の増加に伴い、&29;による入院患者数（基幹定点医療機関〔約 施設〕からの届出数）も上昇（図3）。 年第 週では 人と、前週の 人から約 倍に増加した。

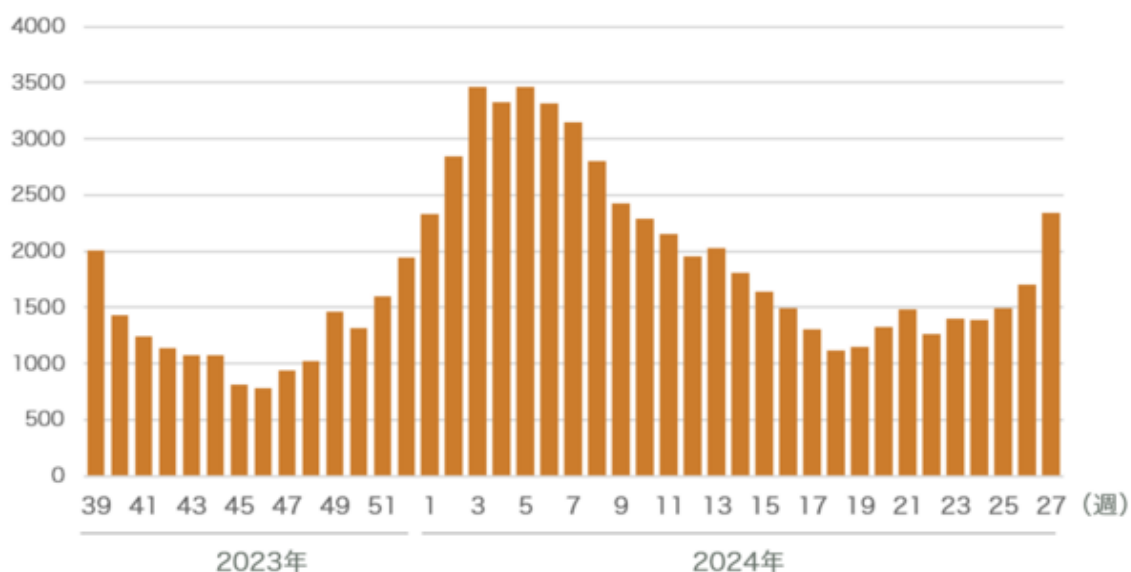


図3 基幹定点医療機関から報告された、COVID-19による入院患者数の推移

年第 ～ 週（月 日～月 日）の、民間検査機関の検体によるゲノムサーベイランスでは、オミクロンの亜系統であり、世界保健機関（: + 2）から「注目すべき変異株（92）」に指定されている -1 系統とその亜系統（. 3 系統を含む）が約 %を占めている。

-